

イベント概要

- 開催期間：2020年10月12日（月）～10月23日（金）
平日 | 8:00～22:00、土・日曜日 | 11:00～20:00
- 開催会場：Marunouchi Happ. Stand & Gallery（※）
（東京都千代田区丸の内2丁目5番地1）
<http://marunouchi-happ.jp/>



Marunouchi Happ. Stand & Gallery

“HAPPENING IS HAPPY”

これからの丸の内、はじめます。
2018年5月25日。
丸の内2丁目5番地の1。
仲通りに面した約10坪の区画に、
「Marunouchi Happ stand&gallery」が誕生します。

- イベント内容：釜石の食材を使ったオリジナルメニューの提供、釜石に縁のある商品の販売、釜石鵜住居復興スタジアムやラグビー神社のパネル展示、オンライン交流会等
- 共催：三菱地所株式会社、丸の内15丁目 PROJECT.

イベント詳細

I. 釜石の食材を使ったオリジナルメニューの提供

- 釜石産水ダコとアボカド、セロリのセビーチェ（平日 14:00～、土日終日提供）
- 釜石フィッシュ&チップス（平日 14:00～、土日終日提供）



II. 釜石に縁のある商品の販売

釜石の醤油やラグビーパイ、ラグビー神社のステッカーを販売します。

III. 釜石鵜住居復興スタジアムやラグビー神社のパネル展示

東日本大震災で被災した小中学校跡地に建てられた、釜石鵜住居復興スタジアム（＝うのスタ）や、ラグビー神社の展示をします。うのスタは、昨年、復興の象徴としてラグビーの試合が行われました。また、「丸の内15丁目プロジェクト」※2で丸の内に建立されたラグビー神社が、釜石に移設された様子をご紹介します。

IV. オンライン交流会の実施

昨年のラグビーの盛り上がりを振り返り、釜石やラグビー神社の今の様子についてお聞きします。

また、Happ.×釜石コラボメニューを食べながら、釜石ひかりフーズさんから生産への想いを伺います。後日 Marunouchi Happ. Stand&Gallery の SNS で釜石の状況等についてご報告予定です。

(※無観客で実施いたします。なお、イベント中はテイクアウト、またはテラス席のみご利用いただけます)

V. 宮崎の名産やグッズの販売

ラグビーの合宿地として縁のある、宮崎の名産やグッズを販売します。

また、同ビル内の「Have a Nice TOKYO!」では、「丸の内×JP47 Featuring 宮崎県 in “Have a Nice TOKYO!”」を実施中です。丸の内×JP47※3 ストリートレストラン事業※4 に合わせて、宮崎県の魅力を紹介しています。

※1 Marunouchi Happ. Stand & Gallery とは

三菱地所プロパティマネジメント株式会社とグッドモーニングスが共同企画・運営を行っているパブリックカフェ。東京・丸の内の目抜き通り「丸の内仲通り」の中心に、「新たな賑わい創造の拠点」として 2018 年 5 月に誕生。気軽にデイリーユースできるカフェでは、丸の内という街が大切にしてきた Essencial (「本物・本質」) をキーワードとして拘りのフード&ドリンクメニューを提供しています。また、いつ訪れても「今まで丸の内では出会えなかったモノ・コトと遭遇」し、新たな発見や刺激を体感できるように、客席スペースをギャラリースペースとして活用。POPUP ショップや、展示企画、トークショー、ワークショップ等、様々な取り組みを企画・展開しています。

※2 丸の内 15 丁目 PROJECT.とは

ラグビーの多様な魅力に着目し、アート、ビジネス、映画等の様々な切り口から、今までにない新たなラグビーの魅力を発信するプロジェクトです。本プロジェクトでは大人から子供まで幅広い方にラグビーを知り、好きになるきっかけとして様々なコンテンツを展開しています。

「丸の内 15 丁目 PROJECT.」の公式 WEB サイトや SNS では、本プロジェクトに関する情報発信を行うと同時に、プロジェクトにご賛同していただき、架空の街“丸の内 15 丁目”の住民として本プロジェクトと一緒に盛り上げていただける方を募集しております。

丸の内 15 丁目 WEB サイト <<https://marunouchi15.com/>>



※3 丸の内×JP47 とは

東京駅前、日本の中心に位置する大手町・丸の内・有楽町地区（大丸有地区）が東京と地方、日本と世界を結ぶハブとなり、日本全国 47 都道府県と連携しながら、大丸有地区の活性化と同時に地方創生を推進していく取り組みです。

※4 丸の内×JP47 ストリートレストラン事業とは

丸の内はこれまで道路空間をつかった、憩いの空間づくりをしてきました。これからは、感染症予防の

ための「新しい生活様式」を踏まえ、観光客がストリート上で飲食を楽しめる空間をつくり、全国のモデルケースとなることを目指します。また、地方創生のため、全国で廃棄される規格外の食材や、需要減による食材在庫をつかって、有名シェフ監修のメニューを提供。フードロスへの配慮や、環境にやさしい容器・包材を使い、SDGsを意識した運営をします。本イベントは、観光庁が実施する「誘客多角化等のための魅力的な潜在コンテンツ造成」実証事業の採択案件です。

<本件に関するお問合せ先>

good mornings 株式会社 担当：大西

TEL : 03-6661-7084 MAIL : onishi@goodmornings.co.jp